

## 編集後記

山梨肺癌研究会会誌、第27巻をお届けします。内容は平成25年11月9日に開催された第43回研究会での発表を論文として編集したものです。

一般演題は10題で、肺癌および胸膜中皮腫の診断、治療に関するさまざまな内容の発表がありました。特に今回は、日産厚生会玉川病院からのご発表がありました。山梨県外の施設からの発表は貴重であり、その発表内容とともに大いに刺激をいただきました。

今回のテーマは「呼吸器疾患と在宅医療～病診連携から終末期医療まで～」ということで、3題の発表がありました。うち2題は在宅医療に熱心に取り組んでおられる診療所の先生からの演題で、それぞれの発表に対して活発な質疑応答、議論が交わされました。

特別講演には、いきいきクリニック、武知由佳子先生にお越しいただきました。武知先生には肺癌はもとより、COPD、肺線維症といった呼吸器疾患の在宅終末期ケアについて、その現状と今後の展望についてご教示いただきました。例年、本会の内容は肺癌の根治、延命を目指す、いわゆる積極的な診断、治療に関する演題、議論が中心となりますが、その一方で治癒が望めない患者さんがいずれ直面する終末期に対する視点も重要です。今回は、在宅医療、病診連携といった、いつもと違った側面から肺癌診療を考える良い機会となりました。またいつもより参加者が多く、顔ぶれも多彩で盛会でした。当番世話人の大久保先生にも改めて感謝申し上げます。

さて本研究会は昭和63年の発足以来、山梨大学医学部第二外科内に事務局を置いて参りました。その第二外科、松本雅彦教授が、去る平成26年2月27日にお亡くなりになりました。先生は心臓血管外科がご専門でしたので、会の運営に直接関与されることはありませんでしたが、就任当初より本会の存在意義について良く理解してくださり、毎回会誌を手にとっていただきました。改めて、会員の皆様とともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次回研究会は市立甲府病院、大木善之助先生の当番世話人で11月29日(土)の開催を予定しております。次回も多数の演題の応募をお待ちしております。

《事務局 奥脇英人》

山梨肺癌研究会会誌 27巻  
平成26年4月1日 発行  
編集・発行 山梨肺癌研究会  
事務局 〒409-3898  
山梨県中央市下河東1110  
山梨大学医学部 第二外科教室内  
Tel 055-273-9682  
印刷所 博友社印刷  
〒400-0016 甲府市武田2-1-2  
Tel 055-253-0470

<http://u-go.to/yslc2>

e-mail: [haigan-med@yamanashi.ac.jp](mailto:haigan-med@yamanashi.ac.jp)

J-Medicine、医学中央雑誌、山梨大学図書館ホムページ 全巻全文収載